

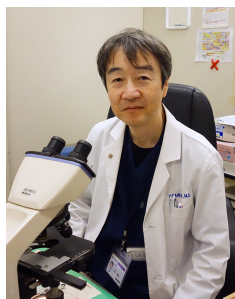
診療科長に聴く

皮膚科編

皮膚科 教授

カワチ ヤスヒロ

川内 康弘



本日は、皮膚科の診療科長である河内康弘教授にお話を伺います。

Q：皮膚科の診療科長である川内康弘先生の専門分野をお伺いします。

学会の資格や役員、授賞歴もお願いします。

A：アトピー性皮膚炎や乾癬などの炎症性皮膚疾患を専門としています。日本皮膚科学会認定皮膚科専門医です。

学会の役員や受賞歴を以下に記します。

学会役員：日本皮膚科学会代議員、日本美容皮膚科学会理事、日本研究皮膚科学会評議員、日本褥瘡学会代議員

受賞歴：上原生命科学財団リサーチフェローシップ賞、加齢皮膚医学研究基金「ロート賞」、第33回日本光医学・光生物学会奨励賞

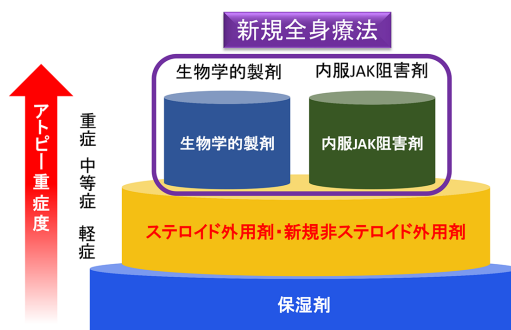
Q：皮膚科は、どのような疾患を対象にしていますでしょうか？

A：皮膚に発生する全ての疾患です。内科的皮膚疾患である炎症性・感染性皮膚疾患（接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、乾癬、ざ瘡、白癬症、ヘルペス、蜂窩織炎等）、外科的皮膚疾患である良性・悪性皮膚腫瘍など多岐にわたっています。

Q：皮膚科は、手術以外にも、皮膚の病気の診断、薬物療法など様々診療を行っていると思いますが、診療内容について教えてください。

A：この10年間で重症アトピー性皮膚炎や重症乾癬の治療は大きく進歩しています。

当科では、生物学的製剤や内服JAK阻害剤など、先進的な治療にも力を入れています。以下に当科のアトピー性皮膚炎の治療方針を図示します。



(裏面に続く)

聴き手
菅原信二

放射線科 教授

・放射線学会
放射線治療専門医
・放射線腫瘍学会 認定医
・当院広報委員長

東京医科大学茨城医療センター

〒300-0395 茨城県稲敷郡阿見町中央 3-20-1 / TEL 029-887-1161

各診療科外来担当医につきましては、当院ホームページをご確認下さい。

<https://ksm.tokyo-med.ac.jp/>

紹介患者・医療連携については、総合相談支援センター 医療連携まで



(表面から続く)

Q：皮膚科のスタッフや得意分野（講師以上）について教えてください？

A：科長の川内は炎症性皮膚疾患全般を得意としていますが、特に重症アトピー性皮膚炎、重症乾癬、膠原病に力を入れています。神崎美玲准教授はアレルギーが専門で、アナフィラキシー、接触皮膚炎、蕁麻疹などが得意分野です。



Q：大学の皮膚科として、行っている研究活動にはどのようなものがありますか？

A：科長の川内は、前任地の筑波大学で神経線維腫症 1 型（レックリングハウゼン病）の厚生労働省班研究メンバーでしたので、当科においても神経線維腫症 1 型の臨床研究を継続しています。

Q：皮膚科として、患者さんを診る上で診療のポリシーとしているものは、何でしょうか？

A：皮膚の症状はもちろん、その背景にある内科疾患、ストレス、家庭環境、生活習慣などを含め、患者さんを総合的に診るようにしています。

Q：受診する患者さまに一言お願いします。

A：皮膚科分野は、この 10 年で画期的新薬の発売が相次ぎ、様々な皮膚疾患の治療法に革命とも言える進歩がみられています。

なかなか治らないと諦めずにかかりつけの先生方に当科宛ての紹介状を書いて貰ってください。新たな路が開けるかも知れません。